



住民協議会だより

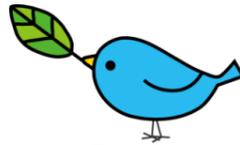
おのえ

第14号

おのえ住民協議会 <小野江町396番地 TEL 0598-56-7506 (午前中のみ)> 2017.2.1

小野江公民館「建設」要望の経緯について 【平成29年1月段階】

小野江公民館「建設」を松阪市に要望するにあたって、小野江地区の6団体の代表が集まって、下記のように活動してきました。
要望書提出にあたっては、ご協力ありがとうございました！



- 平成28年3月31日 小野江地区「小野江公民館建設促進」特別委員会を組織。
(※1)
 - 平成28年4月28日 小野江公民館建設「要望書並びに署名綴」を松阪市長に提出。
【署名綴り：569枚、署名者：1,302名】
*平成29年度松阪市「総合計画及び実施計画」に小野江公民館建設を掲載してくださいとの要望。
 - 平成28年7月12日 松阪市長「意見聴取会」〔ハートフルみくも〕に特別委員会全員が参加し、小野江公民館早期建設を要望。
 - 平成28年7月21日 松阪市長との「面談」〔三雲地域振興局〕に特別委員会代表者が出席し、小野江公民館早期建設を要望し、地域で折りあげた千羽鶴一基を贈呈。
- 特別委員会が、平成29年2月「要望の結果」を三雲地域振興局に確認予定です。

(※1) 小野江コミュニティセンター運営委員会、小野江地区自治会連合会、おのえ住民協議会、小野江地区福祉会、小野江地区長寿会、武四郎誕生地保存会以上6団体の代表で構成されている委員会。

平成29年度 おのえ住民協議会『総会』

日時：平成29年3月26日(日)
午前10時～
場所：小野江コミュニティセンター会議室
内容：平成28年度事業報告・決算報告
平成29年度事業計画(案)・予算(案)など。
*地域構成員の皆さま、どうぞ傍聴ください！



今年は、じゃがバター！



平成29年2月26日(日)「武四郎まつり」出店！！

おのえ住民協議会では例年、誕生地前で「お休み処」を行っていましたが、本年は誕生地が整備中のため、“武四郎まつり会場”において、「じゃがバター」を販売します。
みなさん来てね～！！



「虹色ポスト」にうれしい便り

9月18日 小野江小学校体育館で、元気いっぱい子どもたちが舞台上。お母さんたちがすました顔でコーラスを。そんな「きずなまつり」の後に届きました。

「感動をありがとう」

今年のきずなまつりは最高に良かったと思います。雨天にもかかわらず若くたくさんの参加者でみなさんも感激されたと思います。<中略>いなせ太鼓の演奏は素晴らしく感激で涙が出ました。飛び入り演奏もしていただき時の経つのも忘れてしまいそうでした。お世話をさせていただく方々は大変だと思いますが、これからも地域のみなさんがたくさん参加され、楽しんでいただく企画をしていただくことを楽しみにしております。

追伸 プロッコリーの苗のプレゼントも他地域にはない素晴らしいことだと感謝しております。早く育つよう楽しみにしております。ありがとうございました。

「大きく育ったよ。もうじき収穫します。」とお電話ください。あなたのひと言をいただきに参ります。今後も季節の物を続けます。どうぞ皆さんも参加をしてくださいね！

減災コラム その3

『備えあれば憂いなし』

昨年も色々な災害が発生したが、此处では熊本県益城町で発生した地震の話をしてします。

4月14日益城町を中心に(マグニチュード6.5)震度7の揺れが襲った。私の友人が益城町で生活をしているので、翌日携帯電話をかけて、偶然にも3回目ばかり、今は避難所に居て、昼過ぎには自宅に帰るつもりでいるとの話であった。

私がこの友人と電話または、手紙等で近況報告するたびに、「地震は予知できないし、また、今まで起きている地震も活断層がない所とか、この地域は安全で地震は起きないといっていた場所で起きている。だから家の中を整理し、必要な家具は確実に固定し、余分なものは処分しておかないと室内から野外へ逃げることは出来ない。地震に対して1番安全な場所は、野外で構造物の無いところであり、また津波には高い場所である。他人事ではないよ。」と説教じみた話をしていた。

幸いにして友人の家族6人は全員無傷であった。私は、「避難所から自宅に帰るのであれば、必ず出入口の確保を確実にして、できれば建物が地震の揺れで傷んでいるかもしれないので、点検を受けるまで避難所に居るのがよいのではないか。」と言って、電話を切った。

そして16日またもや(マグニチュード7.3)震度7の地震が襲った。私は16日の朝のニュースで、知り合いの安否が気になり、無事なのか電話をするも繋がらず、気をもんでいた。

17日の昼前に友人から電話があり、15日は友人が1人だけ自宅に戻り、自宅も大した被害もなく、家族も安心していたという。そして私から言われていた避難経路を確保して就寝していたところへ地震が発生し、友人は毛布をかぶりながら、一目散に野外へ逃げたそうである。逃げた直後に自宅は傾き、軋む音がして身震いをしていたと言っていた。夜が明け、避難所にいた家族が心配して自宅に戻り、友人が無事であることを確認し、自宅は全壊したが、家族全員が生きていることの喜びを感じたと言っていた。

あれから8ヶ月。今は新しい住居を建設中である。その中で必要のない家具は置かないで、クローゼットにし、通路を出来るだけ広く、ガラスにはフィルムを貼り、必要な家具は建設中の大工さんに固定してもらおうと言っていた。

誰でもそうであるが、自分だけは、自分には起こらないと思っている。物は再生できるが、命は取り返しがきかない。今一度、自分でできることは準備して、大事な家族、友人を悲しませることのないようにしておきたいものである。 【おのえ住民協議会 安全推進委員 野崎 裕】



レシート投函ボックス

～イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン報告～

マックスバリュ川井町店において、54,030円分(2016年3月～8月分)の黄色いレシートが「おのえ住協」のボックスに投函され、その1%に相当する500円を寄贈していただきました。今回、はさみと養生テープに交換いたしました。ご協力ありがとうございました。今後ともキャンペーンにご協力のほど、よろしくお願いいたします。



9月18日(日) おのえきすなまつり



子どもたちが走りまわり、大人たちが談笑をする。小野江小学校体育館にて、「おのえきすなまつり」を開催しました。ある方から突然に、「参加している皆さんは、動員ですか？」と聞かれ、その言葉に驚きました。おのえ住民協議会では、自主的に参加をしていただくことを前提にしています。一カ所に多くの人が集い、子どもたちと壮年者たちと、高齢者たちが楽しみや喜びを分かち合えるのが「きすなまつり」です。

コオロギのように、鈴虫のように響く、コーラスと琴の音に耳を傾け、田んぼのイナゴやバッタのように、元気に飛び跳ねる子どもたちのヒップホップダンス。

青少年たちの太鼓演奏が、夏の雷のように、嵐波のように、また小川のせせらぎのように、打ち出される音は腹と心に響き、なぜか日本人には懐かしく聞こえました。

楽しい時間は、老若男女の素晴らしい出会いを短く終わらせてしまいました。

平成28年度の「おのえきすなまつり」は、280数名の参加で大成功でした。



9月25日(日) おのえ健康ウォーキング

小野江ウォーキングマップに沿って歩く健康ウォーキング。まだ暑く感じる気候の中、久しぶりの青空の下で、コミセンをスタートし、途中5カ所で説明を受けながら歩きました。

最初、北に向かって、雲出川橋たもとの常夜灯へ。小野江地区で随一の坂道、標高差5m超、を息を切らせながら登りました。常夜灯のいわれなどを案内看板で学習。

次いで、堤防道路からすぐに下って、落工ど(おちくど)の排水機場へ。雲出川への排水路は小野江地区で唯一で、その状況を、甚目の田中寛さんに説明していただきました。

再び堤防道路を東に行き、国道23号線手前から東小野江に下りて、須賀神社、唯称寺の前を通り、田んぼ道を北小野江まで戻る。真覚寺の境内で休憩し、暑い中で食べたアイスクリームがとてもおいしかった。

旧伊勢街道は今回の最重点。武四郎誕生地前で、年内に掛け替え予定の屋号看板について、中野館長から説明を受けました。それぞれに、街道の右へ左へと古い屋号看板を覗きながら、街道を南に下りました。

肥留町の金剛寺で、住職から寺の由緒を伺い、さらに南行して平五郎橋へ。橋を渡って伊勢街道から分かれ、笠松川沿いを宇気比神社へ行き、総代の川井さんから説明をいただきました。

最後は、笠松用水(笠松川)に架かる新井の掛樋(かけひ)を見ながら、三雲地区の用水路について話を聞き、県道を北行してコミセンに戻りました。

参加者は28名で多くはなかったものの、表も裏もよく知ったところを歩くということで、大きな問題もなく、秋空の下での爽やかな健康ウォーキングになりました。

ご参加いただいた皆さん、ご協力いただいた関係各位に御礼申し上げます。



平成28年9月からの活動報告

10月9日(日)

—おのえ住民協議会共催事業—

「第10回小野江地区ふれあいフェスタ」

夜半からの雨もやみ、ときおり小雨が降るものの、「フェスタ日和！」今年も三雲中学校吹奏楽部の演奏でにぎやかに始まりました。

「おじゃましますわ。」とにこやかにいつもの皆さまの笑顔、「今年もがんばるでな！」と防災競技に意欲満々の女の子たち、「毎年これが楽しみです。」と豆ごはんパックを手にとりこりのお母さん、そんな笑顔に会いたくてフェスタを心待ちにしています。

そういった地域の方、ご来場の方々のご理解ご支援、スタッフの方々の熱意とご尽力によって、このフェスタは10回目を迎えることができました。

「おいしい？」と聞くと、うん、うん！といきおいよくうなずく子どもたちが、口いっぱいほおばっていたのは、焼き芋！！今年からの販売です。焼き芋焼き器の製作から試運転、芋の種類の検討や試作を経て、販売に至りました。汗をかきかき、忙しく立ち働く担当の方は、後日、「まだまだ、おいしくするぞ！」という決意も語っていただきました。

「第10回」、地域の方々のご努力でここまで続けてこられました。

今後も地域に根差した祭りとして、回を重ねていきたいと思ひます。

まずは、第11回のフェスタをめざします。乞うご期待を！！



10月15日(土) 減災訓練

「減災訓練をします。」と掲示をし、戸別配布で各家庭にお知らせをしました。会場に集まることが防災訓練だと考えています。

皆さんに参集をしていただいた時点からが減災訓練の始まりです。地域の住民である、おのえ住民協議会の委員たちが、6日間の講習会に参加をし、得た知識の一部を地域の皆さんに伝えようとする「努力」の減災訓練となりました。

小野江小学校5年生の皆さんと、地域の皆さんに伝わったでしょうか。

私たち関係者は、「よかった。」と評価をしています。皆さんが一生懸命に参加をしてくださったからです。

皆さんの活発なスプーンの動きを見て、おいしいカレーの炊き出しだったと、これも満足しています。【いいでしょ(*^_^*)】参加協力をしていただけた皆さまには、感謝しております。

皆さまには、何か一つだけでも、得ていただけるものがありましたでしょうか。



皆さん熱心に取り組んでくださって、うれしかったです。自分も大変勉強になりました。繰り返すことの大切さを実感しました。
【減災訓練指導者 三雲北幼稚園PTA 齋藤さん】